「みんなでつくろう　元気いっぱい　あいさついっぱい　笑顔いっぱい　の学校」

佐野市立犬伏小学校

校長室だより

令和5年度　第28号
R6.3.21
舘野　道明

能登半島震災レスキュー募金　珠洲市立正院（しょういん）小学校へ

能登半島震災レスキュー募金で集まった 74,338 円ですが、珠洲市教育委員会のご協力の下、石川県珠洲市立正院（しょういん）小学校へ振り込むことができました。

この募金については、単に社会福祉協議会などに預けてしまうと、どのように使われ、どこにいってしまったのか見えなくなってしまいます。そこで、子供たちとも話し合い、被災された石川県の小学校に直接届けられないかと考えていました。

この正院小学校は、現在も避難所となっているそうですが、震災後まもなくのNHKのニュースで、「正院小学校の児童が、避難所の人たちを元気づけようと、自分たちで壁新聞を作ってみんなを楽しませている。」という事実を知りました。

「なんて行動力のある子供たちなのだろう！すごいな！！」と感心させられました。そのことがずっと心にあったので、珠洲市の教育委員会を通して、珠洲市立正院小学校の山野（さんの）　仁志（ひとし）校長先生と、直接連絡を取らせていただき、こちらからの提案を快諾していただきました。

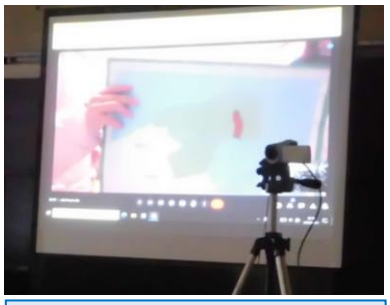
正院小学校は、今年度全校児童28名（R5.5.1 現在）という小さな学校です。

早速打合せを行い、3月19日（火）15時から45分間、4年3組の児童がオンラインでの交流活動をスタートさせることができました。

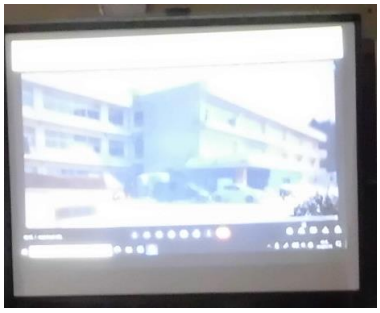
互いの学校の様子を紹介し合ったり、それぞれの思いや考えなど質問し合ったりしました。短い時間ではありましたが、ゲームやクイズなどもいっしょに楽しむことができました。

今後も、引き続き、交流していく中で、どんな化学反応が起きてくるか楽しみです。

まずはレスキュー募金の説明



正院町は珠洲市の中でも
海の近くだそうです。



仮設トイレが設置されたり
ブルーシートが張られたり
しているそうです。

質問タイム
・「休み時間は何をしていますか」
・「校庭に仮設住宅ができて遊べないので、室内で卓球をしたりトランプをしたり、ダンスをしたりしています。」

佐野市のゆるキャラは
「さのまる」
珠洲市の
ゆるキャラは？
「みつけたろう」

震災直後は、先生自身も900人近い方と避難所で生活していた。
みんなに石川県のことを応援してもらえてうれしい。このようにオンラインで交流できてうれしい。